

◆「熊野古道・サンティアゴ巡礼道」姉妹道提携20周年記念イベント開催！（12月1日、4日）

和歌山県とスペインガリシア州は、それぞれの聖地「熊野三山」と「サンティアゴ・デ・コンポステーラ」に通じる「熊野古道」と「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼道」に共通する崇高な価値を認め合い、平成10年から姉妹道提携を締結し、姉妹道提携20周年を記念して、和歌山と東京において共同PRイベントを開催しました。

12月1日、ガリシア州政府観光局プロモーション事業部長による観光プロモーションと、3名の日本人アーティストによるガリシア音楽のミニコンサートを和歌山市内で開催しました。

4日には、発行部数が51万にも及びスペインを代表する観光雑誌、ヴィアヘスナショナルジオグラフィックの編集部長、ガリシア州政府観光局プロモーション事業部長、元熊野本宮館事務局長によるトークセッションや、両巡礼道の食・観光・伝統文化をPRするイベントを東京で開催しました。

イベントは多くの参加者が集まる中、大盛況の内に終了しました。

今後も和歌山とガリシア州の絆をより一層深めるとともに、多くの方々に訪れていただけるよう、お互いの巡礼道の魅力を世界に発信していきます。



◆第12回きのくにロボットフェスティバル2018（12月16日）



和歌山県と友好提携を結ぶ中国山東省の小中学生26名が来県し、「第12回きのくにロボットフェスティバル2018」に参戦し、1チームが小学生部門において3位の好成績を収めました。

また前日には、御坊小学校の児童20名とともに「日中ロボット交流会」に参加しました。交流会では合唱の披露や両国に関するクイズ大会、ロボットのトーナメント試合などが行われ、親睦を深めました。